

秋葉区(新津地域)における景況調査の結果概要 (2025年10月～12月期)

- 1.調査対象 100事業所(有効回答数87社、回答率87%)
- 2.対象期間 2025年10～12月期実績 及び 2026年1～3月期の見通し
- 3.調査結果の概要

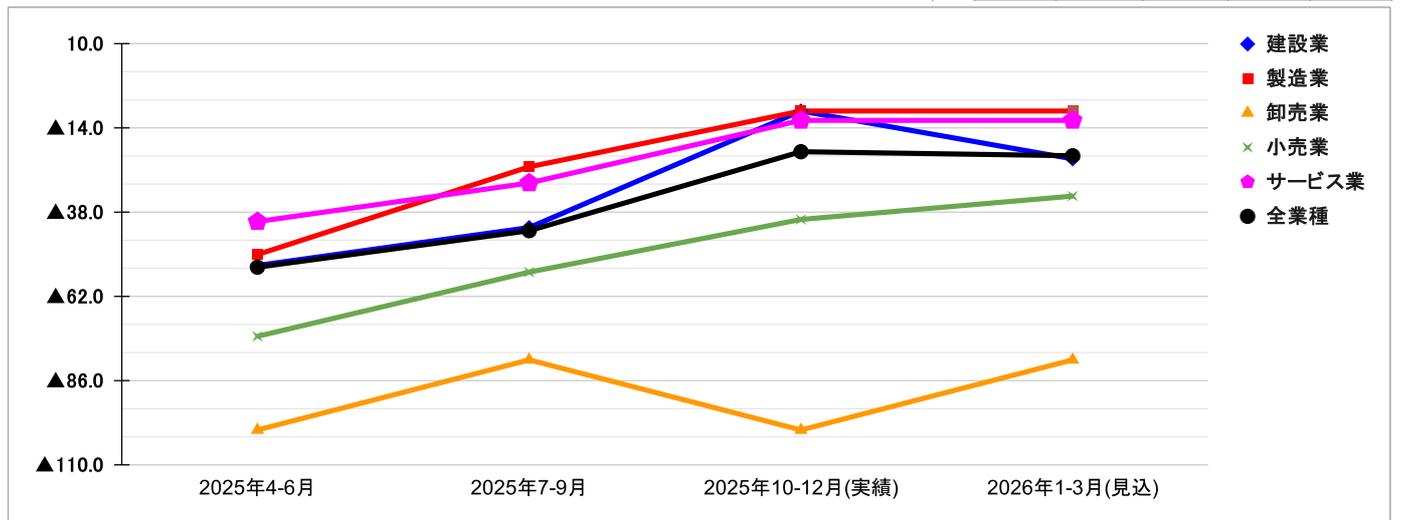
今回の調査における全業種の業況DI(実績)は「△20.7」となり、前期から改善傾向にあります。業種別の売上高DI(実績)は、建設業(22.7)、製造業(18.2)、サービス業(5.9)がプラスを記録した一方、小売業・卸売業はマイナス圏での推移となりました。建設業の次期見通しは「0.0(横ばい)」と予測されています。

共通課題として、仕入単価DI「△66.7」に象徴されるコスト高が続いており、事業所の66%が「価格高騰の影響が継続」と回答しています。また、自由回答では業種を問わず「人手不足」や「若手担い手の不足」を懸念する声が多く、コスト増と労働力確保が経営の大きな圧迫要因となっています。

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
売上高	22.7 (△ 0.0)	18.2 (△ 9.1)	△ 40.0 (△ 40.0)	△ 13.3 (△ 20.0)	5.9 (△ 14.7)	5.7 (△ 12.6)
仕入単価	△ 72.7 (△ 63.6)	△ 63.6 (△ 81.8)	△ 60.0 (△ 80.0)	△ 80.0 (△ 46.7)	△ 58.8 (△ 55.9)	△ 66.7 (△ 60.9)
採算	△ 18.2 (△ 13.6)	△ 9.1 (△ 27.3)	△ 80.0 (△ 60.0)	△ 40.0 (△ 20.0)	△ 5.9 (△ 11.8)	△ 19.5 (△ 18.4)
資金繰り	13.6 (4.5)	△ 27.3 (△ 27.3)	△ 40.0 (△ 20.0)	△ 13.3 (△ 13.3)	2.9 (△ 8.8)	△ 3.4 (△ 9.2)
従業員数	△ 4.5 (0.0)	0.0 (9.1)	0.0 (0.0)	6.7 (6.7)	2.9 (△ 2.9)	1.1 (1.1)
業況	△ 9.1 (△ 22.7)	△ 9.1 (△ 9.1)	△ 100.0 (△ 80.0)	△ 40.0 (△ 33.3)	△ 11.8 (△ 11.8)	△ 20.7 (△ 21.8)

4.業況DI値の推移

DI値	50 ≤ DI	25 ≤ DI < 50	0 ≤ DI < 25	▲ 25 ≤ DI < 0	DI < ▲ 25
	とくに順調	順調	変わらず	悪化	きわめて悪化



5.価格高騰による企業活動への影響について

影響は継続している	影響は出たが、既に収束した	今後影響が出る可能性がある	影響なし
66%	3%	29%	2%